

令和3年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	9	議席 番号	12	氏名	深澤竜介 議員	1/2
発言項目		要 旨				答弁者
1	中部横断道・新々富士川橋開通による、今後の富士宮市の方向性（「富士川ビーナスバレー」の提案について）	<p>中部横断道・新々富士川橋の開通により、富士宮市を取り巻く物流、人流は変わっていくと思われる。また、資源の脆弱な我が国において、今後「サーキュラーエコノミー」、「静脈産業」という「循環経済」の位置づけはより大きなものになっていくと予測される。そこで、現在富士宮市周辺において産業蓄積がある「静脈産業」のより一層の集積を行うことは、「SDGs未来都市」富士宮市の将来に大きなインパクトを与えるものと考え、「富士川ビーナスバレー」の提案を行う。</p> <p>(1) 富士川リバーサイドの位置づけについて。</p> <p>① 現在のスケジュールでは中部横断道（山梨静岡区間）の開通は、本年9月、新々富士川橋の開通は2023年度でよろしいか。</p> <p>② 交通量の予測と富士宮市に与える影響はどうか。</p> <p>③ 富士宮市の南部・旧芝川町・富士川沿いが注目を浴びるエリアになると考えるがその認識はいかがか。</p> <p>④ 内房地区が西の玄関口になるが、それに対し何か考えはあるのか。</p> <p>(2) 富士宮市の総合計画・工業振興ビジョンについて。</p> <p>① SDGsとの関連において、富士宮市では今後どういう業種に可能性が出てくると考えるのか。</p> <p>② 富士宮市総合計画や、工業振興ビジョンにおいては、「循環経済」の位置づけはどうなっているのか。</p> <p>③ 新規の工業団地として具体的な場所はあるのか。</p> <p>(3) 以上の考察を経て、富士宮市南部・旧芝川町エリアに「循環経済産業」の「富士川ビーナスバレー」構想を提案するがいかがか。</p>				市長 副市長 関係部長
2	富士宮市の人事政策について（1年経過した会計年度任用職員と公務員の定年延長）	<p>会計年度任用職員制度が始まって、1年が経過した。また、6月4日には国会で改正地方公務員法が成立した。これらことから今後の当市の人事政策について質問する。</p> <p>(1) 会計年度任用職員制度について。</p> <p>① 制度導入から1年経過した中で、当初の見込みと異なった部分はあるか。</p> <p>② 制度導入にあたって、富士宮市はフルタイムの会計年度任用職員は、0人であったが、1年経過した中で変化はあるか。</p> <p>③ 勤務時間が週38時間45分を超えた会計年度任用職員の数はどれだけあるのか。</p> <p>(2) 公務員の定年延長について。</p> <p>① 改正地方公務員法が改正され、公務員の定年の延長が65歳となったが、富士宮市でも同内容で条例改正するのか。</p> <p>② 退職金支払いの時期や給与水準などについて、現在の再任用職員との違いはあるのか。</p> <p>③ 定年延長による昇進や人件費総額など、若年層への影響が大きいと考えられるが、その部分をどうコントロールするのか。</p>				市長 副市長 関係部長

発言 順序	9	議席 番号	12	氏名	深澤竜介 議員	2/2
発言項目		要 旨				答弁者
		④ 現在人数が一番多いのはどの年代か。 ⑤ 定年者が出ない年が1年おきに発生するが、新規採用のバランスをどうとるのか。 (3) 今後の富士宮市職員の人員数・人件費に対する考え方の基本方針は何か。				